

文書分類番号	00	09	03	002	永 年	起案	令和 年 月 日	決裁	令和 年 月 日
議 長	副議長	局 長	副主幹	係 長	担 当	担 当	文書取扱主任		

第 23 回 新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会会議録

開催年月日		令和3年8月23日（月曜日）		開会 10 時 00 分		閉会 10 時 40 分	
開催場所		第二・第三委員会室					
出席委員		柴田、田村、三上、山本、寄谷、佐々木、安樂、				事務局	壽崎副主幹
		荒木、東元、正副議長					山本主任主事
欠席委員		なし					
説明員		別紙のとおり					
議 件		別紙のとおり					
議 事 の 概 要	1 調査事項について						
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、全て報告済みとした。						
	(1) 滝川市新型コロナウイルス感染症対策本部の経過報告について						
	(2) 新型コロナウイルスワクチン接種に係る接種券の発送及び第6回予約受付について						
	(3) 職員の新型コロナウイルス感染症の感染について						
	(4) 滝川市酒類卸売事業者支援金について						
	(5) 令和3年度一般会計補正予算について（自治体職員協力交流事業（LGOTP）の減額について						
	(6) 令和3年度一般会計補正予算について（学校保健特別対策事業）						
	(7) 滝川市立小学校における新型コロナウイルス感染症陽性者の判明に伴う学級閉鎖について						
	2 その他について						
	市長より、感染拡大防止対策に対する理解と協力依頼があった						
	3 次回委員会の日程について						
	正副委員長に一任することに決定した。						
上記記載のとおり相違ない。							
滝川市新型コロナウイルス感染症等対策特別委員長 柴 田 文 男 ㊞							

令和3年8月19日

滝川市議会議長 関 藤 龍 也 様

滝川市長 前 田 康 吉
滝川市教育委員会教育長 田 中 嘉 樹

滝川市新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会への説明員の出席について

令和3年7月27日付け滝議第48号にて通知がありました第23回滝川市新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願い申し上げます。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願い申し上げます。

記

委員会に出席を求められた者

市長

前 田 康 吉

滝川市長の委任を受けた者

副市長

中 島 純 一

総務部長

和 田 英 昭

総務部企画課長

平 川 泰 之

総務部企画課秘書広報広聴室長

越 前 智香子

保健福祉部長

横 山 浩 丈

保健福祉部介護福祉課長補佐

木 村 雅 人

保健福祉部健康づくり課長

前 田 昌 敏

保健福祉部健康づくり課長補佐

運 上 明 子

産業振興部長

鎌 田 清 孝

産業振興部産業振興課長

稲 井 健 二

産業振興部産業振興課係長

山 下 亮 輔

産業振興部観光国際課長

運 上 琢 諭

産業振興部観光国際課長補佐

石 原 禎 康

市立病院事務部長

柳 圭 史

滝川市教育委員会教育長の委任及び滝川市長の委嘱を受けた者

教育部長

諏 佐 孝

教育部指導参事

橋 本 展 晴

教育部学校運営課長

杉 山 敏 彦

教育部学校運営課長補佐

壽 永 美 和

教育部学校運営課係長

松 澤 卓 磨

教育部滝川西高等学校事務局事務長

山 本 真紀子

(総務部総務課法制文書係)

第23回 新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会

日 時 令和3年8月23日（月）

午前10時00分～

場 所 第二・第三委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶（委員動静）

1 調査事項について（◎印は議案関連）

《保健福祉部》

- （1） 滝川市新型コロナウイルス感染症対策本部の経過報告について （資料） 保健福祉部
- （2） 新型コロナウイルスワクチン接種に係る接種券の発送及び第6回予約受付について （資料） 健康づくり課

《市立病院》

- （3） 職員の新型コロナウイルス感染症の感染について （資料） 市立病院

《産業振興部》

- （4） 滝川市酒類卸売事業者支援金について （資料） 産業振興課
- ◎（5） 令和3年度一般会計補正予算について（自治体職員協力交流事業（LGOTP）の減額について） （資料） 観光国際課

《教育委員会》

- ◎（6） 令和3年度一般会計補正予算について（学校保健特別対策事業） （資料） 学校運営課
- （7） 滝川市立小学校における新型コロナウイルス感染症陽性者の判明に伴う学級閉鎖について （資料） 教育部

2 その他について

3 次回委員会の日程について

○ 閉 会

第23回 新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会

R3.8.23 (月)10:00～

第二・第三委員会室

開 会 9:54

委員長

ただいまから第23回新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会を開会いたします。

全国、さらには全道でコロナの感染者の拡大が続いております。私個人的な感想ではありますが、いよいよ正念場を迎える時期に来ているのかなと思っております。もしかするとこれからの定例会の運営等々にも影響するのではないかと非常に心配しております。ぜひこの委員会を通して、皆さんの活発なご議論をいただき、滝川市でのコロナ感染拡大を未然に防ぐ取組が十分なせるように協力をお願いしたいと思います。

委員動静報告

委員長

委員の動静であります。全員出席しております。議長、副議長に出席をいただいております。傍聴として、堀、木下、山口、渡邊、水口各議員の傍聴を許可しております。報道として、株式会社空知新聞社の傍聴を許可しております。

1 調査事項について

委員長

それでは、早速調査事項に入ります。(1)、滝川市新型コロナウイルス感染症対策本部の経過報告について説明を求めます。

(1) 滝川市新型コロナウイルス感染症対策本部の経過報告について

横山部長

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

質疑に入る前に、報道として株式会社北海道新聞社の傍聴を許可いたします。それでは、質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長

それでは、(1)については報告済みといたします。

次に、(2)、新型コロナウイルスワクチン接種に係る接種券の発送及び第6回予約受付についての説明を求めます。

(2) 新型コロナウイルスワクチン接種に係る接種券の発送及び第6回予約受付について

前田課長

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わりました。

質疑ございますか。

荒 木

まだ方針が決まっておらずはっきりしたことは言えないと思うのですが、子供さんへの接種について悩んでいる保護者の方からよく聞かれることなのですが、接種券の期限というのは来年の2月末ということになるのですか。それとも、特に期限はないということなのか教えてください。

横山部長

現時点においては、有効期限ということでは特段国のほうからも示されておりませんし、私どものほうでもそういう考えはございません。我々としては少しでも前倒しで早く皆さんに打っていただけるようにワクチンを確保し、予約しやすい形で進めていくということで考えてございます。

今荒木委員から指摘のあった点等、今後も国、道にも確認をして、必要な情報が入りましたら提供させていただきたいというふうに思います。

委員長

他にございますか。

(なしの声あり)

委員 長 それでは、(2) については報告済みといたします。
続いて、(3) 職員の新型コロナウイルス感染症の感染についての説明を求めます。

柳 部 長 **(3) 職員の新型コロナウイルス感染症の感染について**
委員 長 (別紙資料に基づき説明する。)
説明が終わりました。
これより質疑に入ります。
質疑ございますか。
(なしの声あり)

委員 長 それでは、(3) については報告済みといたします。
ここで所管の入替えを行いたいと思いますので、暫時休憩いたします。
休 憩 10 : 08
再 開 10 : 08

委員 長 休憩前に引き続き会議を再開いたします。
続きまして、(4)、滝川市酒類卸売事業者支援金についての説明を求めます。
(4) 滝川市酒類卸売事業者支援金について
山下係長 (別紙資料に基づき説明する。)
委員 長 説明が終わりました。
これより質疑に入ります。
質疑ございますか。
(なしの声あり)

委員 長 それでは、(4) については報告済みといたします。
続いて、議案関連であります。(5)、令和3年度一般会計補正予算について(自治体職員協力交流事業(LGOTP)の減額について)の説明を求めます。
(5) 令和3年度一般会計補正予算について(自治体職員協力交流事業(LGOTP)の減額について)
石原課長補佐 (別紙資料に基づき説明する。)
委員 長 説明が終わりました。
事前審査に至らぬ範囲で質疑ございますか。
(なしの声あり)

委員 長 それでは、(5) については報告済みといたします。
ここで所管の入替えを行いたいと思いますので、暫時休憩いたします。
休 憩 10 : 16
再 開 10 : 17

委員 長 休憩前に引き続き会議を再開いたします。
(6)、令和3年度一般会計補正予算について(学校保健特別対策事業)についての説明を求めます。
(6) 令和3年度一般会計補正予算について(学校保健特別対策事業)
壽永課長補佐 (別紙資料に基づき説明する。)
委員 長 説明が終わりました。
事前審査に至らぬ範囲で質疑ございますか。
(なしの声あり)

委員 長 それでは、(6) については報告済みといたします。
(7)、滝川市立小学校における新型コロナウイルス感染症陽性者の判明に伴う

学級閉鎖について説明を求めます。

(7) 滝川市立小学校における新型コロナウイルス感染症陽性者の判明に伴う学級閉鎖について

橋本指導参事
委員長

(別紙資料に基づき説明する。)

説明が終わりました。

質疑ございますか。

寄 谷

この濃厚接触のお子さんですが、今は原則自宅療養というようなところがありますが、このお子さんについては入院されているのかそれとも自宅療養中なのか。お子さんですので、容体が変化した場合、自分で対応するのは難しいと思うので、不安があるのですが、教えていただける範囲でその辺の情報を教えてください。

橋本指導参事

今濃厚接触者というお話がありましたけれども、児童自身の感染が判明したということです。現在は、療養に入っていますが、それが自宅なのか入院なのか、それとも療養施設なのかということについては、この場では差し控えさせていただきますし、状況が刻一刻と変化している可能性もあるかなというふうに認識しております。

本 間

1点だけ確認をしたいのですが、この児童は家庭内感染というふうに考えてもよろしいのでしょうか。

橋本指導参事

それについても、感染経路については、明確に保健所のほうから教育委員会に説明があったという状況ではありませんので、この場では差し控えさせていただきますと思うのですが、ご理解いただけますでしょうか。

本 間

この場では説明を差し控えてもらってもいいのですが、現在の児童の状況や、感染経路等を把握することは重要だと思うのですが、その辺のことについて保健所とのやり取りはどのようになっているのでしょうか。

諏佐部長

保健所から特に何か情報をいただいているわけではありませんけれども、通常、学校で感染疑いがあったり、濃厚接触者に認定された、あるいはPCR検査を受けるとされた場合については、保護者から学校へ情報をいただき、教育委員会として情報を把握することになります。そうした情報については、最近増加傾向にあるというか、日々増えているような状況にあります。検査結果が陰性という事例が多いのですが、今回については陽性になってしまったという状況です。引き続き保護者から情報をいただかない限りは、我々も把握しようがないというところが実態であります。

本 間

把握するように努力しているというふうに理解してよろしいのでしょうか。

諏佐部長

夏休みやお盆ということもありましたので、子供自らの行動範囲はさほど大きくないまでも、結局保護者と同伴して行動範囲広がっているということを考えると、感染リスクというのは非常に増えているのかなというところがございます。そうしたことも踏まえて、教育委員会としても保護者からそういった事態になった場合は速やかに情報をいただきたい旨の通知を夏休み明けに出して、情報把握をしていきたいということで努めております。

委員長

他に質疑ございますか。

(なしの声あり)

それでは、(7)については報告済みといたします。

2 その他について

委員長

その他について、委員から何かございますか。

関 藤

コロナ感染に関しましては、東京を中心に全国的に広がりを見せており、感染爆発に近いような状態が続いています。道内においても地方都市にどんどん感染が拡大しているような状況にある中で、やはりまん延防止等重点措置、またはそういったものが発出されても、国民や市民の中では言葉だけが独り歩きし、具体的な行動がどうなるのかということが麻痺しているような状況にある中で、滝川市内においても小学生の感染や市立病院の看護師の感染という状況が出てきています。ここで市長にお願いしたいのですが、市長の名の下で市民に向けて再度こういった行動については注意をしてもらいたいという注意喚起を促すようなメッセージというのを発信していただけないでしょうか。特に今、本間副議長が言われたように、感染経路というのがなかなか分からないような状況の中で、一般的な傾向としてこういった行動は自粛したほうがいいのではないかなど、今日は、株式会社空知新聞社さんも傍聴に入られているので、市長のメッセージというのを市民に向けて、どのような形でいいので発信をしていただけないかというお願いでございます。

委員 長
市 長

それでは、前田市長のほうからご発言をお願いしたいと思います。
ただいまの議長のお話でございますけれども、私も非常に危機感を持っております。委員会冒頭、柴田委員長からお話がありましており、この場にいらっしゃる皆さん全てがかなりの危機感をお持ちだと思います。しかし、市民の皆さんの一部にはまだ何とかなるのだと軽く考えている方がいらっしゃる節もうかがえるわけでありますので、まずFMG' S k yの番組「みんなのタキカワ」に私が出演して、市民の皆さんにお願いするということも1つですし、ホームページ、また町連協を通じての回覧など、様々な方法を考えながら、いま一つ喚起をしてまいりたいというふうに思っております。

先ほど小学生の感染の話がありましたが、夏休みやお盆ということもあって、様々な人流や交流があったということが滝川でも感染者が増えてきている原因だというふうに思っております。若い方々の感染経路の情報を聞くと、友達と地方に遊びに行き、地方に住む友達と会って感染してしまったという例もありました。また、帰省した方が感染し、帰滝後に発症してしまったということもあります。これだけ帰省をやめてください、注意してくださいと言っても、やはり俺ぐらいはいいだろうとか、たまには家族と会いたいというところがあったのかなというふうに思います。

また、そのほかに家庭内感染も起きてきているというふうに思っております。市内で感染した方からではなく、市外に行って感染した方によって家庭内感染が引き起こされているというような事例も聞いております。家庭内で感染した子供たちが今回の小学生のように学校に行って感染を広げ、その感染がさらに保護者に広がっていく等々の危険性もあるわけですので、これらを十分に注意するようにお願いをしていかなければいけないなというふうに思っております。教育委員会とも先ほど話したのですが、ちょっとでも体調が悪ければ学校に行かないようにするなどの対応を各家庭に対して通知をしながら十分にお願いしていくというのでも必要かなというふうに思っております。

また、職員に対しても、普段会っている方との交流は構わないということですが、普段あまり会わない方との交流は差し控えていただきたいということをお願いをしました。そのほかにも、家庭内で一度家族で話し合っ、お互いが気をつけようということの意識確認をしていただきたいということは職員にもお

願いをしました。これは、先ほど議長が言われたとおり市民皆さんにお願いしなければいけないことであるというふうに思っておりますので、このことをお願いしてまいりたいというふうに思っております。

各施設についても、まん延防止措置が発出されている札幌、旭川にお住まいの方のご利用はお断りさせていただいておりますが、滝川市民の方と一緒に来館されてしまえば分からないわけです。それぞれが危機感を持っていかなければいけないのですが、自粛疲れやコロナを軽く見ている方がまだまだいらっしゃる。若い方でも重症化して、例えばお子さんであっても非常に厳しい後遺症が残る可能性があるということを伝えていって、それぞれが十分気をつけるようなことをお願いしていかなければいけないというふうに思っております。議員各位におかれましても、ぜひこのことについて多くの皆様方に広めていただき、滝川に感染症を持ち込まない、また滝川で広めないという意識を持ち、皆さんと一緒にやっていかなければいけないというふうに思っております。今週も何人かの市民の方が発症したということであります。感染経路が市外というのが本当に気になりますし、脇の甘さがどこかにあるのだろうなと思っています。若い方々にもいま一度、十分に気をつけていただくように伝えていきたいと思っております。

ワクチンの接種につきましては、今かなり進んできておりまして、65歳以上の接種率がかなりのパーセンテージになりました。今後、第5弾、第6弾という形で接種を進めて行くわけで、9月6日からまた新たに受付が始まります。低年齢の皆様方の接種率がまだ低いということではありますが、集団免疫を作るためにも、多くの方に接種していただけるようお願いをしていかなければいけないというふうに思っております。今のところ、滝川の医療の逼迫というのは、余り見えていないというふうに思います。しかしながら、感染が一気に加速すれば、滝川周辺の病院の医療も逼迫されて、酸素機器がないとか、自宅療養者が増えていって家庭内感染がさらに広がっていく危険性も十分はらんでいるわけです。札幌のほうの医療が逼迫され、診察できない患者を地方に送り出すということも考えられます。滝川近辺に療養するホテルを用意していただきたいと北海道に申出をしましたが、保健所の人材不足という理由で断られたため、準備ができませんでした。もし、市内の医療機関が逼迫すれば、今後滝川でも、自宅療養の方向けに訪問診療等をお願いするようなことも考えているわけですが、そんなことがないように、まずは自分自身が感染しない、周囲の人に感染させない努力を徹底していくことが大切だと思っていますので、今後とも皆さんとともにその意識高揚に向けて努力したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

委員長

市長、ありがとうございます。

本 間

市長のご発言を受けて、委員の皆さんから何かございますか。

大変相前後をしまして申し訳ないのですが、市長からも今少し話がありましたワクチンの接種率について、できれば世代別で教えていただけると助かります。お願いいたします。

横山部長

先週の水曜日時点の状況といいますか、VRSというシステムに入れている状況でございますけれども、65歳以上の方で、1回目の接種が終わったのは88.5パーセント、2回目の接種が終わった方は85.3パーセントでございます。60歳から64歳の方は、1回目が78.8、2回目が42.7となっております。ここからは

まだ受付を開始したような状態ですので、若干低くなっておりますが、50歳から59歳の方で1回目の接種が終わった方は45.7パーセントとなっており、少し進んできたかなというふうに思っております。ただ、2回目までの接種が終わった方は恐らく医療従事者等でしょうけれども、11.9パーセントになってございます。以下の年代につきましては、もちろん受け付けただけということでもありますので、接種割合としては40歳から49歳でも20パーセントそこそこですし、30歳以下については、30代で17パーセント程度、20代で14パーセント、10代の方はまだ1パーセントにも満たないという状況でございます。第6回の予約受付では、12歳以上が全世代を対象になりますので、3週間後には40代で46パーセント、30代でも35パーセント、それから20代、10代の方も20から25パーセントぐらいまでは接種率が上がるという状況で、今後順繰り進んでいくのかなというふうに把握してございます。

本 間 現在の接種の進捗状況を見て、接種が全て完了する時期の予測というのは立てていますか。

横山部長 接種の完了時期については、ワクチンの供給というところに大きく左右されるというふうに考えてございます。今ほど言いました第6回の予約受付で申し込まれた方全ての1回目の接種が完了するのが10月1日、2回目の接種となる3週後の10月下旬でも、ワクチンを希望される方全員の接種は終わらないというふうに思います。11月の下旬まで行かない時期に希望者全員に接種が終わるような形で勧奨をしていきたいと思ひますし、ワクチンの確保についても国、道に申入れをしていきたいというふうに考えてございます。

本 間 ちょっと細かいことなのですが、65歳以上の1回目の接種率が88.5、2回目の接種率が85.3となっておりますが、予算段階では80パーセントが接種を受けるという積算をされており、本当にそれでいいのかという確認をさせていただいているのですが、予算を超過した接種分についてはどのように対応されているのか。

横山部長 予算と申しますか、いろいろな部分については7割ないし8割の方が接種するというような形で積算させていただいております。ワクチン接種の交付金等については、増えた分は国のほうから支給をされるような部分もございますし、ワクチンに関しては全額国が負担するということになるかと把握をしております。今のところ、接種率が上がったことによって、例えば市の持ち出しが多くなったなどといった分析はしておりません。

委 員 長 他にございますか。

(なしの声あり)

委 員 長 なければ、ただいま横山部長から説明のあったワクチンの進捗状況に係る数値的な部分は、議会事務局を通して皆さんに配付させていただきたいと思ひますので、よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

委 員 長 それでは、横山部長よろしくお願ひいたします。

3 次回委員会の日程について

委 員 長 次回委員会の日程についてであります。正副委員長にお任せいただきたいと思いますと思ひますが、よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

委 員 長 それでは、以上をもちまして第23回新型コロナウイルス感染症等対策特別委員

会を閉会いたします。

閉 会 10:40